



TITLE:

電子図書館披露式（1998.3.2）特集

AUTHOR(S):

---

CITATION:

電子図書館披露式（1998.3.2）特集. 静脩 1998, 34(2,4): 1-1

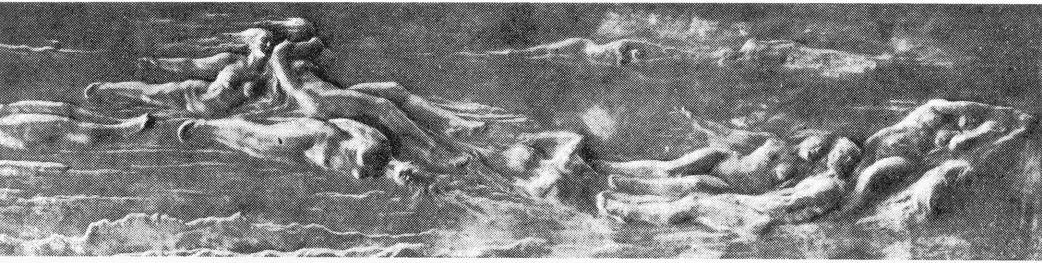
ISSUE DATE:

1998-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37484>

RIGHT:



# 静脩

1998年3月

The Kyoto University Library Bulletin

Vol. 34, No. 2-4

## 電子図書館システム披露式（1998.3.2）特集

平成10年3月2日15時より、京都大学附属図書館1階メイン・カウンター前に設置したサイバー・スペースを会場に電子図書館システムの披露式を開催しました。学外からは、文部省や近畿地区国立大学図書館からの招待者、学内からは、総長、事務局長を始め、附属図書館商議員など多数の教職員の出席を得て、盛大に催されました。

披露式では、最初に、万波通彦附属図書館長の挨拶があり、続いて文部省学術国際局の林一夫学術情報課長、長尾真京都大学総長の祝辞、そして電子図書館プロジェクトを推進している学術情報センター、奈良先端科学技術大学院大学、筑波大学からのお祝いのメッセージがマルチ・メディアで流されました。その後、電子的なくす玉割りとともに、万波館長、林課長、長尾総長、黒川征事務局長がテープカットを行い、サービス開始を祝いました。

最後に、新しく稼働を始めた電子図書館システムのデモンストレーションが行われ、国宝「今昔物語集(鈴鹿本)」や重要文化財「古今集註」(古今和歌集)など、情報発信してゆく本学が所蔵している貴重資料の

画像データベースなどや、学内研究室向けに情報配信してゆく電子ジャーナルやCD-ROM 文献情報などが、画面展開として具体的に紹介され、出席者一同熱心に見聞を広めました。



披露式でのテープカット

附属図書館では、今後とも資料の電子化に積極的に取り組み、情報発信の内容を充実すること、および学内者への効果的な情報配信の内容を構築し、迅速かつ的確な情報提供サービスを実施することを目指し、図書館機能の高度化を目指す予定です。